※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1014 |
|---|---|

# 令和８年度　芸術科

| 教科 | 芸術科 | 科目 | 美術Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生の美術 2」　（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 自主作成教材 | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「表現」では、１年次に学んだ基礎的知識・技術を応用した作品を制作し、
　より創造的に表現する感性を養う。
・「鑑賞」では、１年次に引き続き他者の作品や過去の歴史的な美術作品などの鑑賞を通して、
　よさや美しさを感じ取ったり、作品の経緯についての理解を深めたりする。
・学習の到達度は、授業・作品への取り組む態度、提出物、作品の完成度で評価する。

## 2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
美術の授業を通して美術に関する基礎的・基本的な知識を身に着けながら、どう表現するか・どこまで作りこむかといった課題と向き合う力・判断力・表現力、また主体性を養う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・画材や道具を正しく扱う知識を身に着けている。<br><br>・色彩や遠近法などの美術に関する基礎的・基本的な知識に加えてより専門的な知識・技能を身に着けている。 | ・自分の表現したいものをイメージし、作品で表現することができている。<br><br>・主体的に形や色を判断・決定し、試行錯誤を繰り返しながら、よりよいものを作ろうと自分の作品と向き合うことができている。 | ・指導者の示す課題をよく理解するよう努めている。<br><br>・「こうしたい」という意思を持ち作品制作に取り組んでいる。<br><br>・自分の作品を完成させることができる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期中間 | デッサン応用 | ・デッサン基礎の復讐<br>・デッサン用鉛筆の濃さ<br>・デッサン課題<br>(トリックアートを鉛筆で描いてみよう) | a:道具を正しく使うことができる。<br>b:技法や技術を試したり工夫したりして、作品に活かそうとしている。<br>c:主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。 | 作品 | 作品 | 授業態度<br>ワークシート |
| | 色彩応用 | ・色彩基礎の復讐<br>・トーンとは<br>・色が人に与えるイメージ<br>・色彩構成課題 | a: 道具を正しく使うことができる。<br>b: 色彩の基礎知識に加えてトーンの概念を正しく理解し、試したり工夫したりして、作品に活かそうとしている。<br>c: 主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。 | 作品 | 作品 | 授業態度<br>ワークシート |
| 前期期末 | 文字のデザイン | ・レタリングについて<br>(ゴシック体と明朝体)<br>・ポスター課題 | a: ゴシック体と明朝体の違いを理解することができる。<br>b: 自分の作品のイメージに沿う書体を主体的に選択できる。<br>c: 主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。 | 作品 | 作品 | 授業態度<br>ワークシート |
| 後期中間 | 抽象表現 | ・抽象とは<br>・立体作品課題 | a: 抽象表現とは何かを理解することができる。<br>b:モチーフから特徴を抽出し、抽象で表現できている。<br>c: 主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。 | 作品 | 作品 | 授業態度<br>ワークシート |
| 後期期末 | パッケージデザイン | ・配色と色(色の与えるイメージ)<br>・ロゴマークを考えよう<br>・デザイン課題<br>(ショップバッグを作ろう) | a: 調和する配色の理論を理解している。<br>b:ロゴマークについて試行錯誤をし、より洗練されたデザインになるよう努めている。<br>c: 主体的に自分の作品と向き合い、課題を完成させることができる。 | 作品 | 作品 | 授業態度<br>ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度